

第3学年 外国語活動指導案

板東小学校 3年竹組 24名
指導者 HRT 速水真奈
ALT Joel Gomba

1 単元名 Unit 7 This is for you. ありがとうをつたえよう (Let's Try! 1)

2 単元の目標

- ・日本語と英語の音声の違いに気付き、色や形、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【知・技】
- ・身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、色や形について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。【思・判・表】
- ・身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、色や形について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。【態度】

3 児童の実態

本学級の児童は、素直で明るく外国語活動にも意欲的に取り組んでいる。外国語活動が始まった頃は、英語でやり取りをすることに不安を感じ、消極的になってしまう児童も見られたため、語彙や表現に十分慣れ親しませ、安心して英語を話すことができるようにしてきた。また、4月に実施した外国語活動アンケートでは、友達の発言から新たな学びを得ようとする意識が低かったため、担任が子どもたちの様子を見取り、児童の気づきや発見を全体に広め、共有できるようにしてきた。さらに、児童が間違いを恐れることなく、進んで自分の意見を伝えられるような学級づくりにも取り組んできた。児童はこれまでの活動で、友達の好きな漢字や好きなものを紹介し合い、友達の新たな一面を知って喜ぶ様子も見られ、少しずつ伝え合う楽しさを感じ始めている。

夏に ALT が帰国することを伝えると、みんなで感謝の気持ちを伝えたいとの声が上がった。中には、「英語でメッセージを書きたい」という意見もあり、大好きなアミリア先生に「ありがとう」を伝えたいという強い思いを感じた。7月にアミリア先生とのお別れパーティーを開いた際には、児童が今まで慣れ親しんできた語彙や表現を使って考えたクイズやゲームを行い、最後に全員からのメッセージをプレゼントして感謝の気持ちを伝えた。初めは「英語が伝わって嬉しい」という気持ちだった児童が、目的をもって英語を使うという経験を経て、コミュニケーションに対する意欲がさらに高まり、英語を使おうとする場面も広がってきている。

4 単元について

(1) 単元の構想

本単元では What do you want ~? ~, please. を用いて、欲しいものについて友達と尋ねたり答えたりしながら、身近な人へのありがとうカードを作り、伝え合う。

第1時では、指導者同士の会話から、既習の数や色に加え、形の表現に出会う。また、世界の様々なカードを知ることで単元の見通しをもつ。第2時では、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知り、チャンツやゲームを通して繰り返し聞いたり言ったりして、表現に慣れ親しむ。授業の最後には、ALT が作ったカードの紹介を見る。第3時では、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を使って先生や友達とやり取りをし、様々な形を集めたり、集めた形で何ができるかを考えたりする。授業の終盤に、HRT がありがとうカードを紹介することで、児童がカードを贈りたい相手を想起し、次時の活動への意欲を高める。第4・5時では、これまで慣れ親しんだ表現を使ってありがとうカードを作り、友達や ALT と伝え合う。

(2) 主題とのかかわり

本校研究主題である「豊かにかかわり 伝え合い 学び合う学習の創造」を実現するために、本単元では、児童が身近な人に感謝の気持ちを伝えるという目的を意識して伝え合い、学び合うことができるようにしたい。本単元では、自分の思いを伝え合う場面を第1時から設けている。初めは、既習の表現を用いて好きな形について話すなど、児童の発達段階や実態に合った言語材料を選択し、伝え合う活動を通して新たな語彙や表現に慣れ親しむようにする。また、友達との対話を通して自分の学びを振り返り、新しい知識や考えを発見することが出来るような場面を計画的に取り入れる。本時では、ALT や HRT が作ったカードの紹介に加え、カナダに帰国した ALT から届いた手紙を提示する。児童からのメッセージがとても嬉しかったことや今でも大切にしていることを紹介し、感謝の気持ちを伝えることの素晴らしさを感じられるようにしたい。思いを

伝え合い学び合いながら、完成させたありがとうカードが、教室の中だけでのやり取りに留まらず、家族やお世話になった地域の方など、様々な人との豊かなかわりへとつながるような活動にしたい。

(3) 本単元における評価について

本単元では、「話すこと [やり取り]」の領域で、指導者による行動観察での評価とともに、児童による自己評価の場面も設ける。

本時では、「話すこと [やり取り]」の「知識・技能」の観点について、児童がペアで尋ね合っている場面で形成的評価を行う。学級担任だけでは、全ての児童の見取りが難しいため、前時までの実態を踏まえ、対象児童を限定したり ALT と分担したりして計画的に行動観察を行うとともに、児童による自己評価も実施する。中学年での自己評価では、毎時間の振り返りシートに加えて、各自が青・赤・黄の3色の小さなコーンを使用している。その際には活動のねらい等に応じて、基準を柔軟に設けるようにする。児童の目標に対する到達度がまだ十分ではないと思われる場合には、個別に指導する場面を設けたり、表現に慣れ親しむ活動を加えたりする等の指導改善を行う。そうすることにより、学級全体としての学習状況を把握しながら、個に応じた適切な指導・支援ができるようにしたい。本時の見取りを次時の指導改善に活かし、第4・5時には全員の活動の状況を計画的に観察し、「おおむね満足できる」状況が実現できるようにする。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと(やり取り)	形や色について、What do you want? ～, please. などを用いて欲しいものを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、色や形について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、色や形について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

6 単元計画 (全4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (○)	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価規準 (方法) ※指導・学習改善のための評価 (方法)
1	<p>◆ 日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、色や形、身の回りの物を表す言い方を知る。</p> <p>○ 友達の作品や誌面を見て気がついたことを話す。</p> <p>○ 形の言い方を知る。</p> <p>○ ポインティング・ゲーム</p> <p>○ ペアで好きな形について話す。</p> <p>○ 【Let's Watch and Think1】</p> <p>・ 誌面や映像を見て、季節や行事の際に贈るカードの種類や挨拶を知り、単元終末の活動への見通しを持つ。</p>				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。
2	<p>◆ 形の言い方に慣れ親しむとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする。</p> <p>○ ミッシング・ゲーム</p> <p>○ 指導者の話から、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>○ チャンツ</p> <p>○ ALT や友達に欲しいものを尋ねたり答えたりする。</p> <p>○ ALT のありがとうカードを見る。</p>				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。

<p>3 (本時)</p>	<p>◆ 欲しいものを探ねたり答えたりする。 ○ What's this?クイズ ○ 指導者のやり取りを聞く。 ○ チャンツ ○ ラッキー・カードゲーム ○ ペアになり，欲しいものを探ねたり答えたりする。 ○ ありがとうカードを見る。</p>	<p>(や)</p>			<p>※形や色について， What do you want? ～， please.などを用いて欲しいものを探ねたり答えたりしている。 (行動観察・振り返りシート点検)</p>
<p>4</p>	<p>◆ 身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために，色や形について，欲しいものを探ねたり答えたりして伝え合う。 ○ チャンツ ○ 【Let's Listen】 ・ 登場人物と作品を線で結ぶ。 ○ マッチング・ゲーム ○ 【Activity】 ・ 欲しいものを探ねたり答えたりして形を集める。 ・ 集めた形を使ってカードを作る。</p>	<p>や</p>	<p>や</p>		<p>◎形や色について， What do you want? ～， please.などを用いて欲しいものを探ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。(行動観察・振り返りシート点検) ◎身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために，色や形について欲しいものを探ねたり答えたりして伝え合っている。(行動観察・振り返りシート点検)</p>
<p>5</p>	<p>◆ 身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために，色や形について，欲しいものを探ねたり答えたりして伝え合う。 ○ チャンツ ○ 【Activity】 ・ 感謝の気持ちを伝えるためにさらに欲しい形を集める。 ・ 集めた形を使ってカードを完成させる。 ○ 自分の作品を伝え合う。</p>	<p>や</p>	<p>や</p>	<p>や</p>	<p>◎形や色について， What do you want? ～， please.などを用いて欲しいものを探ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。(行動観察・振り返りシート点検) ◎身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために，色や形について，欲しいものを探ねたり答えたりして伝え合っている。(行動観察・振り返りシート点検) ◎身近な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために，色や形について，欲しいものを探ねたり答えたりして伝え合おうとしている。(行動観察・振り返りシート点検)</p>

本単元で扱う主な表現

What do you want? (A star), please. Here you are. This is for you. Thank you. You are welcome.
 状態・気持ち (big, small) 形 (circle, triangle, square, rectangle, heart, star, diamond)
 bus, flower, shop, balloon, house, car, candy, 動物 (dog, cat, panda, mouse, bear)

7 本時の学習

(1) 目標

欲しいものを尋ねたり答えたりする。

(2) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動		・指導上の留意点 ※指導・学習改善のための評価 (方法)
		HRT	ALT	
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をする。		・英語で挨拶をし、楽しい授業の雰囲気をつくる。
6分	・What's this?クイズをする。	・児童の活動をリードしながら一緒にクイズに答える。	・What's this?クイズを出題する。	・クイズを出題することで児童の興味を引き、既習の表現を思い出させる。
3分	・指導者のやり取りから本時のめあてをつかむ。	・欲しいものについてやり取りをし、本時のめあてを確認する。 ほしいものをたずねたり答えたりしよう。		・児童の興味・関心を高めながら表現を導入する。
3分	・チャンツをする。 What do you want? ～, please.	・チャンツをすることを告げ、児童の活動をリードする。	・音声のモデルを児童に示す。	・リズムに乗って繰り返すことで、楽しみながら表現に慣れるようにする。
7分	・ラッキー・カードゲームをする。	・ALTと共に活動のモデルを示す。	・HRTと共に活動のモデルを示す。	・活動を通して、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませる。
13分	・ペアで、欲しいものを尋ねたり答えたりして形を集める。 What do you want? ～, please.	・HRTとALTでデモンストレーションを行う。 ・個に応じた支援をする。		※形や色について、What do you want? ～, please.などを用いて欲しいものを尋ねたり答えたりしている。(行動観察 ・振り返りシート点検)
5分	・ありがとうカードを見て、次時への意欲をもつ。	・ALTへのありがとうカードを紹介する。	・帰国したALTからのカードを紹介する。	・感謝の気持ちを伝えることの大切さに気づかせ、次時への意欲を高めるようにする。
6分	・本時の活動を振り返る。	・振り返りの観点を示し、感想を聞く。	・児童の活動についての感想を言う。	・児童の活動のよかった点を具体的に示すようにする。
1分	・挨拶をする。	・次時の活動を知らせ、全体に挨拶をする。		

(3) 児童の学習改善につなげるための見取りと指導

「話すこと [やり取り]」の「知識・技能」

「おおむね満足できる」と判断される状況	言葉に詰まったり言い間違ったりするものの、What do you want ～? ～, please.を使って尋ねたり答えたりしている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための指導	チャンツやゲーム等の活動を通して、繰り返し表現に慣れ親しませ、ペアで尋ね合う際には、個別に支援をする。